

ホームと家族を結ぶ

おとずれ 150号

社会福祉法人 任運社 特別養護老人ホーム 任運荘

〒879-6601 大分県豊後大野市緒方町馬場 796 番地 1

事務室：0974(42)2338 寮母室：0974(42)3322

任運社総合相談支援センター 0974(42)4211

任運荘ホームヘルパーステーション 0974(42)3351

※ 任運社内では介護職を『寮母』と呼びます

F A X：0974(42)4187

E-mail：info@ninun.or.jp 編集・発行

<http://ninun.or.jp>

任運荘広報委員会

第42回 任運社 五月祭

平成29年5月14日(日)、第42回五月祭が開催されました。

10時より式典が、廣本理事長の挨拶で始まりました。永年勤続表彰の授賞式があり、3名の職員が表彰されました。受賞者を代表して、10年勤続表彰の三浦えり子ヘルパー主任が謝辞を述べました。続いて、県議会議員の森誠一氏、市議会議員の衛藤竜哉氏、嶺英二氏、馬場区長の菅原正美氏より祝辞をいただきました。

任運荘利用者を代表して、村上昌子氏より「皆さんおめでとうございませう。大変だとは思いますが、自信を持って頑張ってください」と祝辞をいただきました。

式典が終了すると、利用者が楽しみにしているアトラクションです。今年のアトラクションは、舞踊、スコップ三味線、竹田清流太鼓の三つです。高く響き渡る太鼓の音と、軽やかに踊るスコップ三味線で、ホールは賑やかに包まれました。



太鼓を叩く衛藤キヨさん



スコップ三味線を演奏する後藤タケさん



花柳龍知会による舞踊



感動のあまり涙ぐむ小野春子さん



スコップ三味線に誘われる玉田房子さん



息の合ったスコップ三味線の皆様による演奏



迫力満点の竹田清流太鼓による演奏

なごみ塾中庭では、模擬店が行われ、今年も『綿菓子』が利用者にとっては人気の一品となりました。「私も食べてみたい」と要望が多く皆さん「おいしい！」と言われてました。模擬店を楽しみに来ていただいた方々がたくさんいらつしゃいましたので、各テントはてんてこ舞いの賑やかさとなりました。



こりゃ 甘い!



ぜいたくやなあ!



大きいなあ!!



娘さんと一緒に

『綿菓子』を楽しまれる利用者

三上マサさん (左上) 高山ツヨシさん (右上)
渡邊ツネコさん (左下) 佐藤静子さん (右下)

おかげ様で今年の五月祭も無事に終了することができました。会場設営から模擬店の販売等にご加勢をいただいたボランティアの方々、そしてご多忙にもかかわらず、ご来場いただいた近隣の方々、ご家族の皆様には厚く御礼申し上げます。

ありがとうございます。

担当 須藤けさ代

今年も田植えをしました!

ちいさな田んぼに

大きな期待!!

心地よい初夏の風が吹く6月13日、任運荘で田植えをしました。発泡スチロールの水田を皆さんの手が届くように少し高い位置に置いて、手植えをしました。苗の株分けをかって出てくれたのは志賀フキエさんです。「いい苗じゃ、根がしっかりとる」と大事そうに取り分けていました。

早くから、やる気満々の三代キミヨさんは、手袋を自分ではめて大事そうに植えました。「私は、田んぼに入りきりません」という

穴見富貴子さんは田んぼを見るなり、「ああ、これなら植えきるな」と手際よく手前から植えていました。衛藤文子さんは、「珍しい事をさせてくれた。冥土の土産ができた」と笑顔一杯でした。吉野秀子さんは、「昔、尋常小学校時代、勤労奉仕で植えた事を思い出したわ」と懐かしそうに話されました。今年107歳になる佐藤亀代

さんも丁寧に植えていました。三上マサさんは、「丁度、【産めよ増やせよ】の時代で、大きなお腹が冷たい水に触り辛かったなあ」と話してくれました。

引田民子さんは、「これを植えたら、私は【田植えまんじゅう】と【しば餅】を食べよう!そして明日は、田植え休み!」と笑いを誘っていました。深田アイ子さんは「真っ直ぐ、びしつと!」と言いながら植え、皆さんで田植えの歌や日の丸の歌を歌いました。

苗や肥料、土のご協力いただいた岸野さん高倉さん、軸丸の後藤さんありがとうございます。

三重町のチャリテイション実行委員会(代表 野仲愛子様)よりご寄付を頂きました。この一部を田植えの準備に使わせていただきました。

ありがとうございます。

さあ!秋の収穫の稲刈りが出来ればいいですね。美味しいお米が出来ますように。

担当 森園美

田植えの風景!



大はりきりの三代キミヨさん 今年 107 歳になる佐藤亀代さん 株分けをする志賀フキエさん



笑顔で植える三上マサさん 真剣な眼差しの衛藤文子さん 「職員さんお願いします」と 穴見富貴子さん



農業大好きな三谷高明さん 丁寧に植える阿南公子さん 「昔を思い出す」と吉野秀子さん



ムードメーカーの引田民子さん 「懐かしい」と古澤マチコさん 職員と一緒に植える利根正子さん



皆さんで植えた田んぼです!



気合いを入れて植える 深田アイ子さん



「植えていんかな」と 波多野キスさん

皆さん良い手つきです!

嶺八千代さんの

ふるさと訪問

6月15日(木)の午後より、嶺八千代さんがふるさとを訪問しました。

任運荘を出発する前に、「今日は自宅に帰りますよ」と伝え、「掃除をしちよらん」と心配しながらも車に乗りました。

久しぶりの外の風景に、「あら、田んぼに水がはちよん。どうしちよるか」と周りを眺めていました。自宅付近になると、「あそこが家で、あんたらよくわかったな」と言い笑顔でいっぱいでした。

自宅に着くと、ご長男のお嫁さんと娘さんが出迎えてくれており、「おうちよつたんな」と笑顔で言われていました。自宅に入るとすぐに仏壇にお参りをしました。

娘さんに、「家の掃除してくれたんな」と言い周りを見ていると、お孫さんの写真があり、「これは何の写真なん？」と尋ね、「選挙の時のポスターですよ」と伝えると、「選挙えい！」とびつくりした拍子に腰を抜かしてしまいました。なかなか立つまでに時間がかかるも笑顔で喜ばれていました。

その後は、お嫁さん手作りのおはぎを食べ、「うちがおはぎ好きなんをよく知つちよんな」「ばあちゃんの事なら何でん知つちよんわ」と家族の会話に時間も忘れるくらいでした。



娘さんとお参りする嶺八千代さん

帰る前には家の庭で、3人で記念撮影。皆さんとてもいい笑顔の写真です。帰りの車中では、「楽しかったわ！やっぱり家はいいわな」と満面の笑みで感想を言われ、ふるさと訪問が出来て本当に良かったと思いました。

担当 羽田野 瞳



お嫁さん、嶺八千代さん、娘さん



大好物のおはぎを食べています

緒方中学校 2年生

職場体験

6月14日～15日の2日間、三代祥貴さんと吉良優星さんが職場体験で来荘しました。

それぞれが(将来の進路を考える際の要因にしたい、目の不自由な祖父がいるのでどんな事をしたいか等)をこの職場体験で理解したいとしっかりとした目標を持っていました。はじめは緊張していましたが、魚釣りゲームなどで少しずつ利用者の皆さんに溶け込み笑顔が見られる様になりました。大きな声で挨拶することができ、利用者からは「何年生?家はどこ?」など聞かれていました。「僕のおじいちゃんを知っている人がいました」「何回も同じ事を聞かれたので少し困りました」など初めての事で困惑した事もありましたが笑顔で2日間を終える事が出来ました。

お疲れ様でした。
担当 吉野 明子



つぶやき

五嶋ナルコさん



夕食のお手伝いをしている時、
「じゃあ、お薬いきますね〜」
と声をかけると
「どこに行くんな？」
と聞き返していた。

柴田フサコさん



「柴田さん、ホールのティータイムに
いきませんか？」
と声をかけると
「えっ！ちいさいの？」
と振り返っていた。

引田 民子さん



朝食時に（おとなのふりかけが付いていた）
「おとなのふりかけ ち書いちよるけど、
子供のふりかけもあるんな？」
「じゃあ、私はばああのふりかけじゃなあ」と職員と大笑いする。

佐藤シズコさん



戸外散歩時、グラウンドで少年野球の声をききながら・・・
「少年野球の子供達が、こーい、こーい
と言ってますよ」と言うとき
「えっ！どこに？」
と返事をしてくれました。



柿原 幸夫さん



戸外でお茶会をしているとき
「夏が来たごたる」と空を見上げていた。

五嶋ナルコさんと田部八千代さんの会話

田部氏が五嶋氏の居室を訪ねる

田部氏 「なるちゃん！」

あんた

馬力

だしなあえ

五嶋氏 「あんたも、

元氣

じな！」

嶺 八千代さん



「お嫁さんが面会にきてくれましたよ」と言うとき 慌てて
「まさか・・・夫婦喧嘩でんしたんじやなからうかな」と会いに行くと
「ばあちゃんの顔見に来たんで」と大笑いしていた。



お知らせ

任運社初盆供養・盆踊り

●開催日時：8月18日(金) 18時



平成29年度 社会福祉法人 任運社 敬老会ご案内

開催日：9月18日(月)



会場：デイサービスセンターなごみ塾ホール

- 式典：14時00分～14時40分
- お楽しみ会：14時40分～

任運社合同大運動会ご案内

10月1日(日) 10時～12時を予定

- 開催場所は なごみ塾中庭、
- 雨天時は各施設のホール

お待ちしております!



施設内研修

6月8日(木)に感染症対策委員会より『食中毒について』、喀痰吸引対策委員会より『摂食・嚥下について』、上田管理栄養士より『水分について』の施設内研修を行いました。

『摂食・嚥下について』では、ゼリーを前かがみで食べたたり体を反らす、口を開けたまま飲み込む等を体験し、姿勢の大切さを再認識しました。



★広報委員のひとり言

ちよつと面白かった小咄(こぼなし)

「先生、右足が痛いんでございますが」

「ああそうですか。今レントゲン撮りました。安心してください。あなたの右足の痛みは、痛風でもなきや神経痛でもない、関節炎でもありませんでしたよ。まあ、言ってみれば、お年のせいでございますかね」

「先生、いかげんな診察しねえでもらいたいね。右足の痛みが年のせいってあった、左足も同い年だよ」

立川志の輔・天野祐吉書

「話の後始末」より

私は、痛風でした・・・